

# 令和3年度 施策評価シート

## 1. ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 における位置づけ

施策体系	分野	02 生きがい・文化・スポーツ ～うるおいのある豊かなまち～		
	施策	07 スポーツ ースポーツを通して市民が元気にいきいきと暮らすことのできるまちを目指しますー		
重点プロジェクト		元気・健康づくりプロジェクト		
主管課	市民活動推進部 文化・スポーツ振興課	評価責任者	本橋 直人	
		評価日	令和4年4月27日	
関連課	障がい福祉課、高齢福祉課、保健センター、公園緑地課、学校教育課			
目標	全ての市民が生涯を通して、気軽にスポーツに親しみ健康づくりに取り組むことができる機会の充実や環境整備を進めるとともに、スポーツを通じた地域の交流、コミュニティづくりを推進します。			
施策目標の実現に向けた取組	<p>(1) 子どものスポーツ機会の充実 ○乳幼児期からの発達段階に応じて子どもがスポーツに親しむことができる機会の充実を図ります。</p> <p>(2) 生涯にわたり誰もがスポーツに親しめる機会の充実 ○障がいのある人や、高齢者をはじめとする全ての市民へのスポーツ機会の充実と環境づくりを進めます。</p> <p>(3) 地域スポーツにおける人材の育成 ○ジュニア・アスリートの発掘・育成を進めるとともに、指導者、ボランティアの育成、技術力向上を図ります。</p> <p>(4) 安全なスポーツ環境の整備促進 ○スポーツ活動やスポーツ指導における安全性を確保するため、指導者の技術及び指導力の向上を図ります。 ○既存施設の有効活用、利便性の向上などスポーツ環境の整備を図ります。</p>			

## 2. 施策指標と達成状況

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する指標です。

施策 目 標	指標 1	指標名	週1回以上スポーツをする19歳以上の市民の割合					
		説明	新型コロナウイルス感染症が拡大する中、ジョギングやウォーキングで運動不足を解消する市民が増え、割合が増加した。					
		単位	%					
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	-	44.60	47.30	50.00	52.70	55.40
		実績値	45.20	30.90	85.04	86.00		
	指標 2	指標名	障がい者のスポーツ事業への参加者数					
		説明	新型コロナウイルス感染症の影響により、市事業及び地域派遣事業が多く中止となったため、参加可能な事業の開催が実施できなかった。					
		単位	人					
	活動	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	160	190	220	250	280	300
		実績値	162	95	0	0		
	指標 3	指標名	スポーツ施設利用者の満足度					
		説明	4.5月は新型コロナウイルス感染症の影響で全ての施設を休館したが、6月以降は利用制限等を設け、感染対策を徹底し開館したことで、昨年度よりも満足度が向上した。					
		単位	%					
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	64.00	67.50	71.00	74.50	78.00	80.00
		実績値	55.40	50.10	50.50	46.60		
	指標 4	指標名	自治組織ラジオ体操実施団体数					
		説明	新型コロナウイルス感染症の影響で、実施団体数は令和元年度より減少しているが、屋外で間隔を開け実施できるラジオ体操事業はコロナ禍でも引き続き実施を予定している。					
単位		人						
成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値	0	0	13	15	17	19	
	実績値	8	11	8	10			
指標 5	指標名	新春ロードレース大会参加申込者数						
	説明	第16回は新型コロナウイルス感染症の影響で事業を中止した。						
	単位	人						
成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値	1,960	1,960	1,960	1,960	1,960	1,960	
	実績値	1,912	1,897	0	0			

3. 施策への投入コスト

(単位：千円)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支出	事務事業費	609,369	79,536	57,701	126,161	75,951	
	人件費	26,718	37,355	40,272	35,423	40,828	
収入	特定財源	559,149	17,709	1,430	54,666	1,269	
	一般財源	76,938	99,182	96,543	106,918	115,510	

4. 評価対象年度の施策実施内容

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する取組です。

		実施内容	実施実績と効果	主な事務事業
取組①	新春ロードレース大会	大会参加者を半数にするなどコロナ禍における大会の開催方法を検討したが、感染拡大の状況を鑑み、大会中止とした。	令和4年度の大会実施に向け、開催時期を含め、開催可能な方法を検討する。また、イオンタウンふじみ野開業に伴う、交通事情の変化から、大会会場を市役所周辺から第2運動公園周辺に変更することとした。	スポーツ大会事業
取組②	安全なスポーツ環境の整備促進	令和3年度は、休館等の強い制限は行わず、施設内での飲食や大会等の人数制限、基本的な対策を講じて開館を続けた。	感染対策を講じた結果、新型コロナウイルス感染症に対する対策の評価は、97.1%の人が4段階評価のうち上位2つの回答を得た。	スポーツ推進事業 スポーツ施設管理運営事業
取組③	ラジオ体操事業	イオン大井店や自治組織と連携し、ラジオ体操を促進することで、コロナ禍で運動機会の減少している市民に、より身近な場所での運動機会を提供した。一方、8月に実施を予定していたイオンタウンふじみ野や、一部の自治組織での実施は緊急事態宣言の発令により中止とした。	イオンdeラジオ体操は5日間で652人、自治組織ラジオ体操では、10団体が実施し、延べ2,318人が参加した。イオンdeラジオ体操の参加者の1日平均は令和2年度183.1人、令和3年度130.4人となり、天候、感染状況から参加者数が減少している。	スポーツ推進事業
取組④	スポーツ推進委員地域派遣事業	市内小中学校や公民館事業等にスポーツ推進委員を派遣し、軽スポーツ（ポッチャ等）の普及を進めている。令和3年度から、介護予防センターへの派遣が始まった。	派遣回数：11回 うちポッチャの派遣回数：3回 令和3年度は、地域派遣に、介護予防センターへの派遣が加わり、多世代向け、介護予防を目的とした派遣が増えている。	スポーツ推進事業
取組⑤	オリンピック・パラリンピック事業	7月6日に富士見市・三芳町・ふじみ野市をまたがる聖火リレーを実施した。職員だけではなく、自治組織、市スポーツ協会、市消防団にも沿道警備に加わっていただき、地域を挙げて聖火リレーを実施した。	聖火リレーについては、近隣小学校の協力で、沿道の観客に小学生が作成したフラッグを配布し、好評を得た。また、ふじみ野市在住のパラリンピアンが誕生し、市を挙げて応援するとともに、出場種目の普及に努めた。	スポーツ推進事業

5. 評価

評価	
指標の達成状況	平成28年度から平成30年度まで積極的なスポーツ施設の基盤整備を計画的に進め、リニューアルした施設で様々な事業を展開し、周知・利用促進を行ったが、令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響で一定の制限を設けたうえで、安全安心な施設運営に努めた。
行政資源の活用	ソフト事業については、感染症対策や事業規模を縮小するなど事業の実施に向けた検討を行ったものの、令和2年度に引き続き、令和3年度も事業の中止をせざるを得ない状況となってしまった。今後は、国レベルのスポーツ大会、県内の大規模イベントが実施されていることから、感染症対策を注視し、できる限りの事業を行っていく。令和3年度に開催した東京オリンピック・パラリンピックでは、無観客での開催となったが、日本選手の活躍は多くの感動をもたらした。また、ふじみ野市出身で東京パラリンピックボート競技に出場した八尾選手には、パラリンピック終了後、出身校で、講演会をしていただき、自身の経験、努力をすることの大切さを子供たちに伝えていただいた。オリンピック・パラリンピックのレガシーとして、誰もがいつまでも親しめる生涯スポーツの推進やふじみ野から未来にはばたく人材を育成するとともに、整備した施設を多くの人に知っていただき、利用いただくよう、全ての人々が住みなれた「ふじみ野」で継続してスポーツに親しめるよう様々な事業展開を図っていく。
取組の有効性	
おおむね有効	
施策の効果	
効果が得られている	

# 令和3年度事務事業評価シート

## 1. 事務事業の概要

事務事業名	スポーツ推進事業		前年度の方向性	拡充
重点プロジェクト	元気・健康づくりプロジェクト			
施策体系	分野	02 生きがい・文化・スポーツ ～うるおいのある豊かなまち～		
	施策	07 スポーツ –スポーツを通して市民が元気にいきいきと暮らすことのできるまちを目指します–		
予算費目	一般会計 02総務費 01総務管理費 13文化・スポーツ振興費			
所管部課	市民活動推進部 文化・スポーツ振興課	評価責任者	吉村 敏世	
事務事業期間	平成17年度～	評価日	令和4年6月1日	
個別計画 根拠法令・条例等	スポーツ基本法、文化・スポーツ振興条例、ふじみ野市スポーツ推進計画			
事務事業の内容	事務事業の目的	日常生活に運動を取り入れる習慣をつくり、健康で生き活きとした生活が送れるよう市民の年齢、適正、健康状態等に応じたスポーツ教室や大会を開催し、スポーツを通して市民が元気にいきいきと暮らすことのできるまちづくりを目的とする。		
	事務事業の経緯	スポーツ基本法第4条の規定（地方公共団体の義務（自主的かつ主体的に、その地域の特性に応じた施策を策定し、及び実施する責務を有する。））及び将来構想「元気・健康プロジェクト」並びにふじみ野市スポーツ推進計画に基づき、各種事業を実施している。令和元年度から、既存の「スポーツ推進事業」に「スポーツ団体支援事業」「入間地区社会体育推進事業」「ラジオ体操普及事業」を統合した。		
	事務事業の概要	多様な市民が生涯にわたってスポーツに親しむことができる地域づくりを推進し、スポーツを通じた地域の活性化を図ることを目的として、幼児から高齢者、障がいのある方まで各世代が参加できる多様なスポーツ教室を指定管理者、スポーツ協会及びスポーツ推進委員と連携し、開催している。さらに、自治組織と連携して、地域でラジオ体操を行うことで、身近な場所での運動機会を提供している。競技スポーツの育成環境や支援体制の更なる充実を図り、スポーツに対する興味関心を高めるため、スポーツ団体の育成を行う母体への支援を行う。さらに、スポーツで活躍している市民に対し、交通費及び宿泊費の一部を補助し、トップアスリートやジュニアアスリートの輩出を目指している。		
	令和3年度の主な取組	<b>【入間東部地区駅伝競走大会】</b> 令和3年度は、ふじみ野市が幹事市となり、さらなる参加者増員に向け、各種調整を行う。 <b>【オリンピック・パラリンピック】</b> 1年間延期され、令和3年度に実施される聖火リレーの沿道警備を行う。また、聖火リレーをより多くの市民に安全に観覧してもらえる機会の調整を再度検討していく。さらに、職員の自主研究会と協力し、オリンピック・パラリンピックの機運醸成に努める。 <b>【スポーツ団体支援事業】</b> ふじみ野市スポーツ選手派遣費補助金交付要綱の見直しを検討し、より多くの選手の活動を支援する。		

## 2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.80	1.72	1.80
		人件費	14,503	13,671	14,307
	再任用職員	従事人数(人)	0.30	0.10	0.30
		人件費	1,591	506	1,518
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		16,094	14,177	15,825	
事業費	報酬※	83	33	247	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	490	1,365	892	
	委託料	0	1,959	3,709	
	使用料及び賃借料	4	8	196	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	7,432	12,178	9,008	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	474	909	2,512		
支出合計		24,576	30,630	32,389	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	30
一般財源		24,576	30,630	32,359	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		215	268	278	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員（産休代替等除く）の人件費も含まれています。

### 3. 事務事業の指標と実績

指標	指標名	自治組織ラジオ体操実施団体数		
	説明	目標値：前年度実績より2団体増（東西各1団体増） 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、実施団体数が減少した。令和3年度は、ラジオ体操実施期間に緊急事態宣言が発令されたため、中止となった自治組織もあった（5団体が中止）		
活動	単位	団体		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	13	10	12
	実績値	8	10	
指標	指標名	障がい者のスポーツ事業への参加者数		
	説明	目標値：令和5年度の目標（300人）を達成するために、段階的に参加者を増やす。（将来構想策定時に設定） 対象事業：令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため対象事業が中止となった。（元気・健康フェア、新春ロードレース大会等）		
活動	単位	人		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	220	250	280
	実績値	0	0	
指標	指標名	週1回以上スポーツをする19歳以上の市民の割合		
	説明	目標値：令和5年度の目標（55.4%）を達成するために、段階的に割合を高める。（スポーツ推進計画策定時に設定） 実績値：指定管理者による有料スポーツ施設の利用者へ無作為に実施した利用者満足度調査に基づく。		
成果	単位	%		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	46.28	50.00	52.34
	実績値	85.04	86.00	

### 4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	【実施内容】
	<p>1シニア元気塾                      (1) 実施：4日間（11月9・16・30日・12月7日） (2) 参加人数：延べ94人</p> <p>2スポーツ推進委員地域派遣事業                      (1) 派遣回数：11回 (2) 派遣内容：ポッチャ、グラウンド・ゴルフ等</p> <p>3イオンdeラジオ体操（イオンタウンふじみ野は中止）                      (1) 実施：5日間（7月28日～8月1日） (2) 参加人数：延べ652人 ※イオン大井店での実施</p> <p>4自治組織向けラジオ体操の支援 ※緊急事態宣言の発令に伴い5団体が中止                      (1) 実施自治組織数：10団体 (2) 参加人数：延べ2,318人</p> <p>5オリンピック聖火リレー 7月6日 富士見市・三芳町・ふじみ野市特設コース</p> <p>6パラリンピック聖火ビジット 8月19日 ふじみ野市役所本庁舎1階ギャラリー</p> <p>【新型コロナウイルス感染症拡大の影響により延期・中止した事業】</p> <p>1元気・健康フェア 2スポーツカレッジ2020                      3スポーツ指導者講習会 4スキルアップ教室                      5ノルディック・ウォーク事業 6入間東部地区駅伝競走大会</p>
	【効果】
	<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、予定していた多くの事業を中止することとなったが、ラジオ体操事業やシニア元気塾等については、感染対策を講じて実施した。</p> <p>令和3年度に延期された東京2020オリンピック・パラリンピックでは、7月6日に聖火リレーがふじみ野市を通過し、多くの人にお越しいただくことができた。しかし、無観客での競技となったため、開催自治体枠でのチケット販売は中止となった。8月19日に実施したパラリンピック聖火ビジットでは、JOCジュニアオリンピックに出場するなど未来のオリンピックを目指す中学生に、パラリンピック聖火を朝霞市からふじみ野市にお持ちいただいた。</p>

### 5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	<p>東西のスポーツ施設が整備され、新たなフィールドで今まで以上に多様なスポーツ事業の展開を予定していた矢先に新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和2年度に続き、多くの事業を中止することとなった。幅広い世代が参加できる事業の企画を行う一方、参加者のターゲットを絞り、少人数でも感染対策を実施して行う事業を引き続き検討していく。また、障がいのある方もない方も一緒に参加できるイベントの開催も進めていく中で、身近な場所で手軽に運動する機会の場としてラジオ体操は、今後も広く推進していく。</p>
中長期的方向性	
継続	

# 令和3年度事務事業評価シート

## 1. 事務事業の概要

事務事業名	スポーツ大会事業		前年度の方向性	拡充
重点プロジェクト	元気・健康づくりプロジェクト			
施策体系	分野	02 生きがい・文化・スポーツ ～うるおいのある豊かなまち～		
	施策	07 スポーツ ースポーツを通して市民が元気にいきいきと暮らすことのできるまちを目指しますー		
予算費目	一般会計 02総務費 01総務管理費 13文化・スポーツ振興費			
所管部課	市民活動推進部 文化・スポーツ振興課	評価責任者	吉村 敏世	
事務事業期間	昭和43年度～	評価日	令和4年6月1日	
個別計画 根拠法令・条例等	スポーツ基本法、文化・スポーツ振興条例、ふじみ野市スポーツ推進計画			
事務事業の内容	事務事業の目的	幅広い年代、市内各地域が参加できる競技スポーツイベントとコミュニティ・スポーツイベントを開催することで、市民にスポーツ活動の楽しさと健康増進、体力の向上、コミュニティの推進を図る。また、競技スポーツ人口の増加を目指しながら、スポーツを通じて青少年から高齢者までの生きがいづくりの一助を担う。		
	事務事業の経緯	令和元年度から、「新春ロードレース大会事業」「市民スポーツフェスティバル事業」「市民スポーツ大会事業」を統合し、「スポーツ大会事業」となり、継続して当該事業を行う。		
	事務事業の概要	<p>「新春ロードレース大会」は、毎年1月に開催し、老若男女問わず参加することができ、申込者数1,800人を超える市内最大のスポーツ大会である。平成26年度から市主催から実行委員会方式へ移行して実施している。</p> <p>「市民スポーツフェスティバル」は、毎年10月から11月に、自治組織連合会を中心とした東地域と西地域の実行委員会に事業委託をし、地域スポーツの祭典として、開催している。</p> <p>「市民スポーツ大会」は、毎年8月から翌年3月までの間に、ふじみ野市スポーツ協会主催で、さまざまな競技スポーツを市民が自ら運営する大会である。</p>		
	令和3年度の主な取組	<p>【新春ロードレース大会】</p> <p>令和2年度は大会が中止となり、イオンタウン完成後、初の大会となるため、交通量の増加に伴う、開催場所及び感染対策の検討を行う必要がある。</p> <p>【オールふじみ野市民スポーツフェスティバル】</p> <p>例年、東地域1か所、西地域6か所で開催していた市民スポーツフェスティバルを自治組織連合会の発案により、オリンピック・パラリンピックの開催に合わせ、スポーツを通じたコミュニティの醸成、健康増進及び世代間の親睦を深めること等を目的に、4年に1度、東西地域合同で「オールふじみ野市民スポーツフェスティバル」を開催する。令和3年度が第1回となる。</p>		

## 2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.24	0.90	1.40
		人件費	9,991	7,154	11,128
	再任用職員	従事人数(人)	0.30	0.10	0.30
		人件費	1,591	506	1,518
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
	人件費計	11,582	7,660	12,646	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	0	0	0	
	委託料	60	1,209	5,638	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
	その他事業費※	0	0	564	
	支出合計	11,642	8,869	18,848	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源	11,642	8,869	18,848	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		102	78	162	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員(産休代替等除く)の人件費も含まれています。

### 3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	新春ロードレース大会参加申込者数		
	説明	目標値：申込定員数に対し100%の人数 実績値：新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止のため0人。		
活動	単位	人		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	1,960	1,960	1,960
	実績値	0	0	
指標 2	指標名	市民スポーツフェスティバル参加者人数		
	説明	目標値：前年度実績10%増（令和3年度目標値は平成30年度実績4,528人から算出） 実績値：新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止のため0人		
活動	単位	人		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	4,980	4,980	5,478
	実績値	0	0	
指標 3	指標名	市民スポーツ大会の参加者数		
	説明	目標値：前年度実績1%増（大会参加者数） 実績値：実施予定だった21競技中10競技を実施。実施した競技については、参加人数の縮小、大会形式から講習会形式に変更するなど工夫を凝らして実施。11競技については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。		
成果	単位	人		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	4,168	4,209	4,251
	実績値	0	1,876	

### 4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>「新春ロードレース大会」 令和3年7月13日(火) 第1回実行委員会開催 【議題】開催要項及びコース(案)、協賛について、ボランティアの募集について 令和3年8月17日(火) 第2回実行委員会開催 【議題】第17回大会開催案について、近隣自治体の開催状況について、新型コロナウイルス感染者数について、開催可否について →2回の会議の結果を踏まえ、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による中止を決定</p> <p>「市民スポーツ大会」 8月実施予定だった総合開会式は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とした。 実施予定だった21競技中10競技を実施。実施した競技については、参加人数の縮小、大会形式から講習会形式に変更するなど工夫を凝らして実施。11競技については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。</p> <p>「オールふじみ野市民スポーツフェスティバル事業」 令和3年7月9日(金) 自治組織連合会臨時役員会にて、感染状況を考慮し中止を決定 令和4年2月24日(水) 自治組織連合会役員会にて、令和4年度は例年通り東地域と西地域に分かれて開催することを決定 →令和4年度の市民スポーツフェスティバルは、夏季オリンピックが終了したため例年通り東地域と西地域に分かれて開催し、オールふじみ野市民スポーツフェスティバルは、次回夏季オリンピック開催年度に開催する。</p>
------------------	--

### 5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	1新春ロードレース大会 令和2年度、令和3年度の新型コロナウイルス感染症の感染状況から、開催時期も含め、事業実施のための検討を引き続き実施する。 2市民スポーツフェスティバル
中長期的方向性	「オールふじみ野市民スポーツフェスティバル」は夏季オリンピックの年に実施するとしているため、令和4年度は、令和元年と同様の東西地域に分けて市民スポーツフェスティバルを実施する。
拡充	3市民スポーツ大会 関係機関と協力体制を築き、スポーツへの参加を啓発し、参加者の拡充に努めるとともに、市外からの参加チーム制限の緩和等を検討していく。また、余裕を持った大会日程を組めるよう大会の前倒しについて検討を行う。

# 令和3年度事務事業評価シート

## 1. 事務事業の概要

事務事業名	スポーツ施設管理運営事業		前年度の方向性	拡充
重点プロジェクト	元気・健康づくりプロジェクト			
施策体系	分野	02 生きがい・文化・スポーツ ～うるおいのある豊かなまち～		
	施策	07 スポーツ –スポーツを通して市民が元気にいきいきと暮らすことのできるまちを目指します–		
予算費目	一般会計 02総務費 01総務管理費 13文化・スポーツ振興費			
所管部課	市民活動推進部 文化・スポーツ振興課	評価責任者	吉村 敏世	
事務事業期間	昭和50年度～	評価日	令和4年6月1日	
個別計画 根拠法令・条例等	スポーツ基本法、学校体育施設の開放に関する規則、学校体育施設開放運営委員会要綱、学校運動場照明施設の設置及び管理に関する条例、施行規則・ふじみ野市立スポーツセンター条例、施行規則			
事務事業の内容	事務事業の目的	生涯スポーツの普及及びスポーツ活動の場の確保、スポーツ施設の整備・充実を図り、利便性のあるスポーツ施設として市民に提供する。管理運営については、指定管理者制度を活用する。		
	事務事業の経緯	平成23年度に指定管理者の公募を行い、平成24年度より、スポーツセンターをはじめとしたスポーツ施設の管理運営を指定管理者制度により実施している。 小中学校の体育施設の開放においては、学校行事に支障のない範囲で貸出している。		
	事務事業の概要	平成24年度から指定管理者制度により(運動公園等含む)管理の移し現に至る。 毎月1回モニタリングを行い施設管理及び事業実施状況の点検等を行っている。 聖路加テニスコート、ゲートボール場等は、定期的に巡回を行っている。 学校体育施設を学校教育に支障のない範囲で市民に開放。毎月1回、翌月分の利用を各学校ごとに設置している学校体育施設開放運営委員会で学校行事や他団体活動が重ならないよう調整会議を行っている。		
	令和3年度の主な取組	【夜間照明設備撤去及び更新工事】 葦原中学校、大井東中学校の2カ所に設置されている夜間照明設備について、老朽化が進んでおり、利用率等を考慮し、葦原中学校の設備を撤去し、大井東中学校の設備を更新することとし、令和3年度に工事を実施する予定。 【駒林体育館】 駒林体育館については、非構造部材(吊上げ式バスケットゴール)の耐震化工事を実施する。また、照明が水銀灯のため、LEDへの更新が必要となっている。LED化に加え、アリーナの床や壁等の修繕の検討を進める。		

## 2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.30	1.20	1.30
		人件費	10,475	9,538	10,333
	再任用職員	従事人数(人)	0.40	0.80	0.40
		人件費	2,121	4,048	2,024
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
	人件費計	12,596	13,586	12,357	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	1,009	408	4,853	
	委託料	45,910	51,599	47,267	
	使用料及び賃借料	2,015	0	0	
	工事請負費	0	52,261	0	
	負担金、補助及び交付金	10	10	10	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	214	4,222	1,055		
	支出合計	61,754	122,086	65,542	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	473	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	837	987	999
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	37,559	0
		その他	120	16,120	240
	一般財源	60,324	67,420	64,303	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		527	589	551	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員(産休代替等除く)の人件費も含まれています。

### 3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	スポーツ施設の利用率		
	説明	目標値：前年度実績2%増（令和2年度より設定） 実績値：総合体育館、上野台体育館（トレーニング室除く）、駒林体育館、弓道場、テニスコート、多目的グラウンドの6施設分の平均利用率		
成果	単位	%		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	52.30	53.30	54.40
	実績値	55.10	58.15	
指標 2	指標名	スポーツ施設利用者の満足度		
	説明	目標値：令和5年度の目標(80%)に合わせ満足度を段階的に高める。（将来構想策定時に設定） 実績値：指定管理者が実施しているアンケート調査で満足と答えた人の割合。（回答数：277人）総合体育館、上野台体育館（トレーニング室除く）、駒林体育館、弓道場、テニスコート、多目的グラウンドの利用者に対してアンケートを実施。（満足、やや満足を合わせると令和3年度実績は82.6%）		
成果	単位	%		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	71.00	74.50	78.00
	実績値	50.50	46.60	
指標 3	指標名			
	説明			
成果	単位			
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値			
	実績値			

### 4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	<p>【学校体育施設開放事業】 小中学校の体育施設の開放においては、学校行事に支障のない範囲で貸出しを行うため、毎月1回、翌月分の利用を各学校ごとに設置されている学校体育施設開放運営委員会で、学校行事や他団体活動が重ならないよう調整会議を行っている。利用者に感染対策を十分に行ってもらい、運動機会の場の提供を目的として、可能な限り開放を行った。</p> <p>幼児から高齢者、障がいのある方など、市民のスポーツ推進を図る上で、地域でスポーツ活動ができる場所の提供として欠かせない事業となっている。</p> <p>【学校運動場照明施設】 葦原中学校の照明施設については令和2年度から不具合が生じており、利用の中止を続けてきたが、利用率の低さからも、令和3年度をもって廃止とした。一方、大井東中学校の照明施設については、老朽化した地中配管及び灯具の更新工事を実施した。水銀灯からLEDに更新したため、利用者からは「ライトがつくまでのタイムラグがなくなった」などの声をいただいている。工事費については独立行政法人日本スポーツ振興センターが実施している「スポーツ振興くじ助成」に応募し、16,000千円の助成を受けることができ、特定財源の獲得に努めた。</p> <p>【指定管理者】 令和3年度は、感染症対策を指定管理者とともに調整し、感染症対策を徹底した上で、開館を続けた。また、指定管理者の自主事業についても、可能な限り実施した。</p> <p>スポーツ施設等については、一体的管理運営のもと、新型コロナウイルス感染症対策を徹底するとともに安全・安心の管理運営を行い、全世代に向けた多彩な事業を展開することにより、市民一人ひとりに合わせた健康づくりに貢献する。</p>
--------------	--

### 5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	平成29年度に総合体育館の整備が完了し、平成30年度には、テニスコートをクレーコートから砂入り人工芝へリニューアルし、アーチェリーも兼用できる遠的を備えた弓道場を新たに整備したことにより、スポーツゾーンの整備が完了した。令和4年度は駒林体育館の床修繕を行い、今後はこれらのフィールドを今まで以上にご利用いただき、併せて、誰もが住み慣れた地域で継続してスポーツに親しめるよう、市を始めとしたスポーツ協会、指定管理者等による多種多様な自主事業の実施が必要である。毎月実施している学校体育施設開放運営委員会において、各学校開放委員長に利用公平性の確保について周知徹底をしていく。また、安全な状態でスポーツが推進できるよう努め、引き続き、施設利用率が伸びるよう、更に市民のスポーツの推進を図る。
中長期的方向性	
継続	